

経営企画、事業企画そして製品企画に携わる企画パーソンが押さえておくべき

『IoT(モノのインターネット)』入門

～IoTを活かしたビジネスモデル革新で成長ギャップを埋めよう～

《開催要領》

- 日 時● 2016年5月17日(火) 13:00～17:00
- 会 場● 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

講師 キュー・エム・コンサルティング 取締役社長 松原恭司郎 氏



講師紹介

国際会計事務所系コンサルティング会社などを経て1992年に独立。バランス・スコアカード、ビジネスモデル、ERP関連のコンサルティング業務に従事。MRP(資材所要量計画)、MRPⅡ(製造資源計画)、ERP、S&OPなど製造業の統合アプリケーション・システムにも造詣が深い。情報処理システム監査技術者。東北福祉大学兼任講師、元中央大学大学院特任教授(2008年～2015年)。主な著書に『ビジネスモデル・マッピング教本』(2013)、『松原流:戦略マップ/BSC実践教本』(2010)、『図解ERPの導入』(1997)、『ROE重視のKPIマネジメント教本』(2016年)いずれも日刊工業新聞社などがある。

《開催にあたって》

ドイツの製造業振興策「インダストリー4.0」、米国のGEが主導する「インダストリアル・インターネット」に続いて、我が国でも産学官を挙げて「IoT(Internet of Things)」推進のうねりが高くなってきました。このIoTには、製造業はもちろん関連する産業のビジネスモデルに変革をもたらすことが指摘されています。そこで、経営企画、事業企画そして製品企画に携わる企画パーソンを対象に、IoTを理解し、それを活かすことによりビジネスモデルの改良と革新をもたらすための知識体系を解説します。

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 FAX:03-5215-0951

*申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
*申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。
■受講料:1名(税込・資料代含)

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

161270-0101 『IoT(モノのインターネット)』入門			
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属	職 職	
E-mail			

■参加要領:申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。(「TOP」→「公開セミナー」→「よくあるご質問」)
※お申し込み後のキャンセルはお受けいたしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。
■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail:kawamorita@bri.or.jp
TEL:03-5215-3514 FAX:03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

『IoT(モノのインターネット)』入門

5/17
(火)

13:00

- IoT関連概念・用語を整理する
 - ・インダストリー4.0、インダストリアル・インターネット、M2M、接続機能を持つスマート製品などを整理し体系化する。
- 中期経営計画策定時に生じる「成長ギャップ」とその埋め方
 - ・成長ギャップとは、成長ギャップの埋め方とビジネスモデルの革新
- 企画パーソンこそ「ビジネスモデル思考」を持つ
 - ・ビジネスモデルとは、ビジネスモデルの見える化技法
- 「IoTを活かしたビジネスモデル改革」で成長ギャップを埋める
 - ・IoTがビジネスモデルに及ぼす可能性を知る(サプライチェーン・プロセスとサービス提供の双方の領域におけるインパクトとは)
- IoT適用事例として紹介されるケースを整理してみよう

＜クイズ形式＞

 - ・欧米、日本の「いわゆるIoT事例」を、クイズ形式で検証し整理することにより、理解を深める
- 「IoTが加速するビジネスモデル・パターン」を理解し、引き出しを増やして、企画に取り込もう!
 - ・マス・カスタマイゼーション
 - ・ハイブリッド・ソリューション(モノからコトへ)
 - ・プラットフォーム/マルチサイド・プラットフォーム
 - ・シェア(シェアリング・エコノミー)
 - ・データ流通
- これからは「ビジネス・エコシステム」まで視野を広げることが重要となる
 - ・単独の製品レベル(例、エアコン)から、製品システム・レベル(例、冷暖房空調システム)、更には「システムのシステム」レベル(例、スマート・ホーム、スマート・シティ)まで視野を広げた企画構想について

17:00

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。